



体 育 祭



第 119 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校 P T A

令和 4 年12月19日 発行

地域で子育てしていく大切さ



P T A 会 長

久 永 和 枝

早いもので、P T A に携わり二回目の冬を迎えようとしています。昨年、中止となった文化祭、半日に縮小した体育祭も、この秋はそれぞれ開催されました。体育祭では P T A のジュース販売を通して暑い中、子どもたちがガンバル姿や友達とじゃれ合いながら楽しんでいる様子を見て、親として安心と嬉しさを感じました。

さて、八月には四役で石川県金沢市での全国高等学校 P T A 連合大会に参加させていただきました。「輝く未来への礎」〜親から始める新時代の教育〜をテーマに、子育てはもろろん、保護者としても仕事に生かせる学びの多い講演でした。

その中で「たった一人の人間の影響を受けて人生は変わる」それが先生、地域の方や保護者である。そして、学力で示すことができない人格的特徴、「人体力」をつけることが大事。それは、部活動や生徒会、ボランティアやキャンプなどのことで、いつからでも鍛えて伸ばすことができる能力だそうです。さらに納得して努力することで自己成長することができ、体験や経験が学力や生きる力につながるということです。

地域で子育てしていくことの大事さを改めて実感しながら、P T A がその一役となるよう保護者も楽しんで活動していきたいと思えます。

心を動かす



校 長

磯 村 幸 彦

足早に秋も過ぎ、令和四年も残り僅かになりました。P T A 会員の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

八月のコロナ第七波の影響が残る中、何とか文化祭と体育祭を実施することができました。保護者の方の参観はかなわず残念でしたが、P T A 役員・委員の方による文化祭でのゲーム等の出し物は大好評で、短時間で景品等がなくなる状況でした。体育祭での P T A によるジュース販売は熱中症予防の上でもありがたかったです。生徒の楽しそうな笑顔をたくさん見ることができ、学校行事の大切さを再認識しました。また、修学旅行は十月の末に無事予定通り実施でき、今年も運がよかったと思います。生徒は沖縄で多くのことを見て、感じて、学び、とても意義深い修学旅行となりました。

部活動では、文芸部が二年連続五回目のまんが甲子園に出場し、「やなせたかし賞」を受賞しました。吹奏楽部は県大会に出場しました。運動部ではサッカー部、陸上競技部が県大会に出場しました。コロナ禍ではありますが、できることを工夫し、学校行事も含め生徒の心を動かす教育を目指していきたいと思えます。最後になりましたが、保護者の皆様にはお健やかに良い年を迎えられますよう心から祈念いたします。

P T A 活動報告

今年度はコロナ禍のため中止となっていた P T A 活動の多くが再開されました。多くの役員・委員の方が、P T A 活動を経験していない中での活動再開となりましたが、皆様のご協力によって充実した活動を行うことができました。

球技大会と体育祭では、文化委員によるジュース販売が行われ、大盛況のうちに終えることができました。文化祭では、総務委員による「駄菓子すくい」、進路指導委員による「輪投げゲーム」が行われ、多くの生徒が来店しました。また、昨年に引き続き、環境委員による花壇の花の植え替えが七月と十一月に行われ、季節に合った色とりどりの花を植え付けました。そして九月、十月、十一月の毎月一回、生徒指導委員による交通安全指導も行い、登校する生徒に声掛けをしていただきました。

八月二十五日(木)と二十六日(金)に、高 P 連全国大会石川大会が石川県で開催されました。本大会は、二年ぶりに現地での開催となりました。開会式後の分科会では、慶応義塾大学教授の中室牧子氏と花まる学習会代表の高濱正伸氏による「新時代の家庭教育」の講演に参加すべき本場に必要ならぬ講演に参加しました。データから教育をとらえる中室氏と実際の教育現場に身を置く高濱氏の話から、家庭教育をより多面的に把握する必要が有ると感じました。大会二日目

は、(株)ファミリーマート顧問の澤田貴司氏の記念講演があり、ビジネスの第一線で活躍される方の生の声を聴くことができました。中室氏、高濱氏、澤田氏という立場の違う三名から、異なる視点で新鮮な教育論を聞くことができ、大いに刺激を受けました。

P T A 役員会も感染防止を務めつつ、二回行うことができました。今後もコロナウイルスの感染状況を見ながらではあります。ですが、どのような活動を行うことができるか保護者と学校がともに考えていきたいと思えます。



国際交流報告

総務部 柴崎 靖子

今年度は、A F S アジア架け橋プロジェクトの留学生二名を本校に迎えています。七月に初めて会ったころには、日本語はごく限られた語彙で、挨拶ができる程度であったと記憶しています。

スリランカのリョウ君は剣道部と弓道部を掛け持ちし、持ち前の実直な性格で、授業にも積極的に参加をしています。クラスメイトも英語を交えて、授業の内容を伝えてくれています。インドネシアのアル君は、大変頭の回転が速く、観察力が鋭い生徒です。日本の生活の中から敏感に様々なことを感じ取っています。全くタイプの違う二人ですが、この留学期間中に、それぞれが日本について学び、また、本校の生徒がそれぞれの国や文化について興味を持つってくれることを期待します。また、その経験を今後の交流に活かしてくれることを期待しています。

二年生のクラスに所属していますが、修学旅行に参加できなかったため、三年生と一年生のクラスで各国の紹介プレゼンテーションをしてもらいました。素晴らしい準備されたパワーポイントや、工夫を凝らしたクイズで生徒も一緒に楽しく、スリランカや、インドネシアのことを学びました。短い時間ではありましたが、小さな交流の積み重ねや、それを長く地道に続けることが真の交流といえる

のではないかと、思います。

本校の生徒はなかなか自分から質問をすることが苦手なようですが、自ら働きかける力を留学生から学んで欲しいと思います。

また、エルウッドカレッジとは、現在、来年度の交流計画を立てています。具体的には、来年度、エルウッドカレッジからの訪問団を受け入れる予定です。生徒二十名程度が本校を訪問し、その間、ホームステイを体験するプログラムです。来年度、ホームステイを引き受けてくださるご家庭を募集しますので、何卒ご協力をお願いいたします。可能な限り、元の交流の形に戻していくつもりですが、長期派遣生も今後の話し合いの中で募集する可能性もあります。海外に出ていくことは、ハードルが高いと思っ

ている生徒も、ホームステイ受け入れのことで、留学生との交流を経験することもできます。言葉を超えた交流を可能にする若者の力に感動し、交流の経験の積み重ねが平和な世界へつながっていくことを願っています。



修学旅行

思い出しのページ

二年三組 石川 結斗

僕は沖縄への修学旅行を通して、さまざまなクラスメイトの新しい一面や沖縄の歴史など、沢山のことを知り、学ぶことができました。

初日では、二時間の飛行機で友人と色々なことを語り明かしたり、道の駅からアメリカの基地の中を見たりしました。中でも心に残ったのはガマの見学です。ガイドさんの凄惨で本当にあった話を聞いた時は、握っていた自分の親指から心臓の拍動が分かるほど、当時そのガマで起こったという話が恐ろしいもので、もう二度と戦争などということは繰



り返してはならないと強く思いました。

二日目は、美ら水族館見学とマングロープでのカヤック体験をしました。ジンベイザメのいる大水槽で綺麗な写真を撮ったり、目で訴えられて買わざるを得なかったぬいぐるみに出会ったり、カヤックではみんなが前の子を狙った水をほぼ全て被ったりと、とても楽しい一日でした。

三日目の那覇市内での散策では、国際通りを主に歩いて、いろいろなお土産を買ったり美味しいステーキを食べたりしました。

三日間を通してとても充実した修学旅行を過ごすことができました。

かけがえのない修学旅行

二年三組 林 晟矢

三日間の沖縄への修学旅行は、僕にとってかけがえのないものになりました。

沖縄に着いてから最初に戦争で使われたガマに向かい、現地の方と共に中へ入りました。険しい洞窟のような場所の中で、当時のものと思われる割れたお皿やヒビの入ったコップなどを見て、古い過去のことはいいえ、実際にここで人々が生活をしていたということをこの場で改めて実感しました。また、ひめゆりの塔で聞いた話や、平和祈念資料館で見た亡くなった方々のたくさんの名前が刻まれた平和の礎などが、美しい沖縄の景色の背景にある悲惨な戦争の事実を僕の心に強く印象付けました。

戦争のことについてもたくさん学びましたが、それと同じくらいたくさん楽しかった思い出もできました。道の駅から見えた沖縄の景色や、美ら水族館でみた大迫力のジンベイザメ、海の上を走り回ったマリンジェット体験など、どれもめったに経験することのできない大切な思い出です。友達とご飯を食べたりお風呂に入ったたり、部屋でたくさん笑ったり街を歩いたり、クラスのみんななどの仲間これらのことを通してずいぶん深まったと思います。

たくさんのお話を学びたくさんの思い出を作ることができた今回の修学旅行は、忘れることのできない一生の宝物で

す。そして、コロナ禍でも先生方が僕たちのために今回の修学旅行を準備、企画してくださったことには感謝してもしきれません。たくさんのお話を聞いて、思い出を作ることができた今回の修学旅行は、最高の三日間でした。



文化祭



初めての文化祭

三年三組 岡本 涼那

今回の文化祭は全校生徒にとって高校生活初めての文化祭でした。去年までは新型コロナウイルスの流行により開催することが出来ませんでした。今年も開催は難しいだろうと思っていました。先生方が開催してくださったおかげです。私も思い出に残る文化祭になりました。私がこの文化祭で特に印象に残っていることは、全員が学年に関係なく、どの学年の出し物にも参加し楽しんでくれたことです。普段部活動以外で関わることの無い他学年とも交流を深めることが出来る貴重な機会になりました。クラス内でも、普段はあまり話したことのないクラスメイトとも話し合っけて団結し、さらに絆を深めることが出来ました。クラスで協力して一つの物を作り上げる大変さと、出し物を楽しんでもらえる達成感を感じることが出来た文化祭でした。

今回の文化祭を成功させる事が出来たのも、コロナ禍による制限もある中で対策を考え実施してくださった先生方のおかげだと思います。ありがとうございました。これからたくさん思い出を作りたいです。

体育祭



最高の体育祭

二年三組 吉田 サンジ

今年の体育祭で総合優勝できてとても嬉しかったです。クラス一丸となって応援しながら各種目を頑張る、どんな結果であつてもお互い励み合えることもなく最終的には励まし合うことができました。今年の体育祭では自分たちのクラスだけではなく、他のクラスでも励まし合うシーンが多く見られました。僕は四種目に出場し、全てがよい結果ではなかったのですが、クラス対抗リレーでは一位で予選突破することができ、決勝戦で優勝することができました。リレーの四人の選手のうち二人が陸上部ということもあり、体育の授業では彼らにアドバイスをもらい、スタートのタイミングやバトンの受け渡し方を教えてもらいました。このほかにもクラスメイトの力も大きく発揮された事もあったから優勝できたと思います。

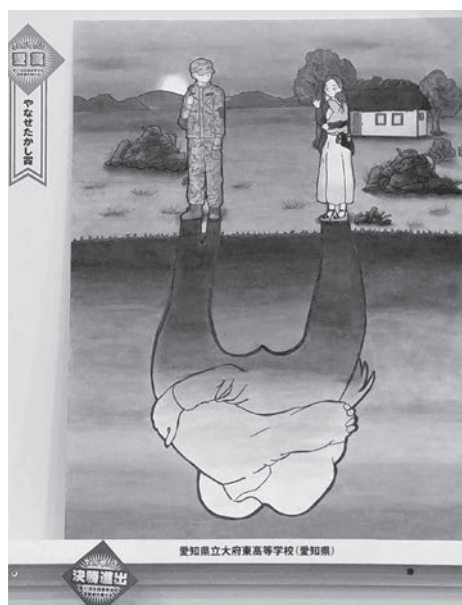
僕はサッカー部に所属していますが、今年の体育祭ではサッカー部の先輩や同学年、後輩達と他の種目を見て、全力で応援しました。自分のクラスはもちろん、他クラスの友達や部員など学年の壁を超えて応援しました。部活動対抗リレーでは、三位という結果になりましたが、走り終わったあとゴール地点にサッカー部のみんながいて結果を気にせず、笑顔で過ごしとても楽しい空間でした。体育祭では他にも深い思い出がたくさんでき、クラスの仲間も深まる事ができました。来年もクラス一丸となってたくさん楽しみたいと思います。



【文芸部】

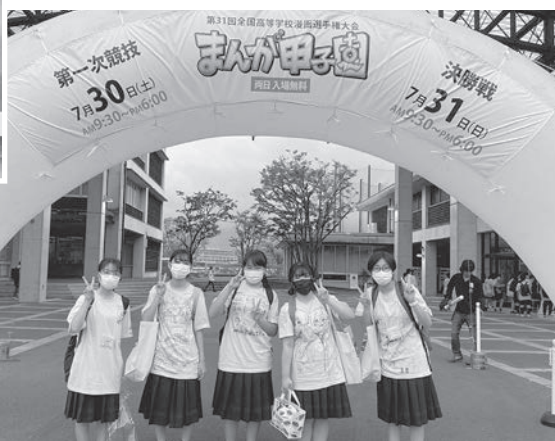
文芸部は三年ぶりに高知県で行われた全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）本選において、昨年に引き続き一次競技を勝ち抜き、決勝戦に出場しました。そして今年も、本選出場五回目にしつてついに入賞することができました。

受賞した賞は「やなせたかし賞」。大会の永世名誉審査委員長であるやなせたかしの先生の遺志を継いだ特別賞です。この賞は一次競技作品三十二作品、決勝作品、十五作品、敗者復活戦作品五作品のすべての中から選ばれる賞で、今回は一次競技作品（テーマは「影」）で受賞しました。出兵によって引き裂かれる家族の心情を描いた作品です。現在の世界情勢を反映させた作品になりました。大府東高校から平和への祈りを発信します。



出場選手は三年生浜道亜樹、二年生岩下小夏、向井智咲、一年生加藤風花、加藤美憂の五人です。

文芸部の活躍はNHKテレビ「まるっと！」でも紹介していただきました。これからも部員たちのチームワークで人々を感動させる作品を描き続けていきたいです。



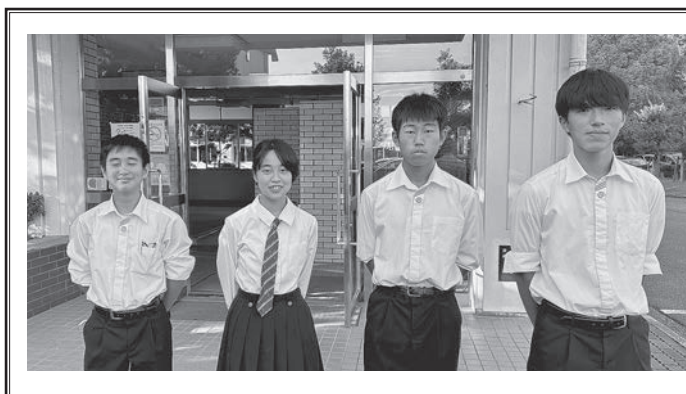
令和4年度
後期生徒会役員紹介

会長 二年二組 林 晟矢

副会長 一年四組 浅田梨央奈

書記 一年四組 坂木 信太

会計 一年五組 吉原 大智



令和4年度 部活動試合結果 (6月~10月)

陸上競技 (男子)	<新人体育大会知多支部予選> 総合2位(トラックの部 5位、フィールドの部 1位) 1位 近藤(800m)、深谷(走高跳)、高倉(三段跳) 2位 美濃輪(400m)、深谷(走幅跳) 3位 高倉(走高跳)、飯田(走幅跳)、浅田(三段跳)、登澤(やり投)、 4×400mR(美濃輪・近藤・山口・飯田) 4位 近藤(1500m)、4×100mR(登澤・古田・美濃輪・深谷) 6位 中園(100m)、浅田(走高跳)	10種目 県大会出場
(女子)	<新人体育大会知多支部予選> 4位 高畑(やり投) 5位 對間(走幅跳)、4×100mR(百崎・佐野・富永・對間) 6位 佐野(100m)、濱島(800m)、對間(三段跳)	6種目 県大会出場
硬式野球	<全国高等学校野球選手権愛知県大会> 2回戦 0-10 安城学園 <秋季知多地区高校野球> 1次リーグ:大府東・半田工 12-1 常滑、大府東・半田工 3-7 東浦 2次トーナメント:1回戦 大府東・半田工 3-10 日福付、2回戦 大府東・半田工 1-10 横須賀 <全尾張大会知多地区予選> 1回戦 2-3 常滑	
バスケット (男子)	<知多支部高等学校夏季選手権大会> 1回戦 65-52 日福付、2回戦 57-71 半田工 <全国高等学校選手権大会愛知県大会知多支部予選> 1回戦 96-33 半田商、2回戦 60-73 知多翔洋	
(女子)	<全国高等学校愛選手権大会知多支部予選> 1回戦 32-60 常滑	
ソフトテニス (女子)	<愛知県高等学校新人体育大会> 団体:予選リーグ 3-0 半田東、0-3 大府 決勝リーグ 1-2 横須賀、3-0 半田、3-0 桃陵、0-3 東海樟風 第4位 個人:ダブルス 服部・千葉 ベスト16、小木・江川 ベスト32	
卓球 (男子)	<国民体育大会 知多地区予選会> 9位 岩瀬 4回戦 藤井 3回戦 大友、浅生 2回戦 大武、平松、吉村、加藤 1回戦 牧迫、松岡、村瀬、堀田 <知多地区選手権大会> 団体 1回戦 ○3-0 福祉大府 2回戦 ●1-3 半田工科 シングルス ベスト32 加藤、大友 3回戦 浅生、平松 2回戦 村瀬、牧迫、藤井 1回戦 吉村、堀田 ダブルス 3回戦 平松・加藤、2回戦 藤井・大友、1回戦 牧迫・村瀬	県大会出場
(女子)	<国民体育大会 知多地区予選会> ベスト4 近藤 2回戦 岡村、1回戦 加藤 深谷 新實 <知多地区選手権大会> 団体 1回戦 ○3-0 福祉大府、2回戦 ○3-2 半田、準決勝 ●2-3 半田(第3位) シングルス ベスト16 近藤、3回戦 岡村、2回戦 深谷、1回戦 加藤 ダブルス 2回戦 近藤・岡村、1回戦 深谷・加藤	県大会出場
弓道 (女子)	<知多地区高等学校選手権大会> 個人 第3位 柴田麻耶奈 <知多支部高等学校選抜大会> 女子団体 第2位 柴田・永田・成岡	
剣道 (男子)	<知多地区高等学校剣道大会> 団体 Aチーム 3回戦、Bチーム 2回戦、Cチーム 1回戦 個人 3回戦 伊藤 2回戦 宋原、平石、那須 1回戦 川越、山松 <愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選会> 団体 予選リーグ通過 決勝トーナメント 1回戦敗退 個人 2回戦 伊藤、宋原 1回戦 平石、秋本	
(女子)	<知多地区高等学校剣道大会> 団体 1回戦、個人 1回戦 小田 <愛知県高等学校新人体育大会知多支部予選会> 個人 1回戦 小田、金田	
バレーボール (男子)	<愛知県高等学校選手権大会 知多支部予選会> 1回戦 0-2 半田工	
(女子)	<愛知県高等学校選手権大会知多支部予選会> 1回戦 0-2 半田商 <全日本高等学校選手権大会知多支部予選会> 1回戦 0-2 桃陵	
バドミントン (男子)	<愛知県高等学校新人体育大会名南知多支部予選> 団体 1回戦 3-0 名市工、2回戦 0-3 横須賀 個人 ダブルス 4回戦進出 西川・河合、勝見・笹野、山川・加藤 シングルス 3回戦進出 生田真一 <半田市夏季大会> 男子2部 岡崙・木挽、近藤・中村 ベスト16	
サッカー	<全国高校選手権愛知県大会知多支部予選> ブロック決勝 3-1 半田 ブロック優勝 <全国高校選手権愛知県大会> 1回戦 3-1 春日井工科 2回戦 1-2 名経大高蔵 ベスト32 <高円宮杯U-18愛知県サッカーリーグ 愛知県3部> 4勝3分2敗 第3位	県大会出場
ハンドボール (男子)	<愛知県高等学校選手権大会知多支部予選会> 予選リーグ:14-16 東海南、11-20 東浦 1次リーグ敗退 <知多地区高等学校選手権大会> 1回戦 12-8 東海南、2回戦 13-22 半田工、敗者戦 12-15 横須賀	
吹奏楽	<愛知県吹奏楽コンクール知多地区大会> 金賞 <愛知県吹奏楽コンクール県大会> 銀賞	県大会出場